

## 2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	おおつぼ 大坪 りょうすけ 亮介
(研究テーマ名) 南北朝期歴史叙述の研究	
(研究活動実績) <p style="text-align: center;"><b>〈概要〉</b></p> <p>本年度は、南北朝期の軍記物語のうち、『明德記』と『太平記』に関する研究を行った。まず、南北朝最末期に勃発した幕府の内紛を描く『明德記』の構造を分析した。先行研究で解明された作品の構造が、幕府による寺社本所領保護政策を背景にしていること、そして歴史叙述の分析に際して、土地政策という要素に着眼することの有効性について研究発表を行った（学会発表1）。</p> <p>加えて、『太平記』における大内裏描写に関する論文を執筆した（論文1）。従来、大内裏の殿舎や調度についての長大な記述は、啓蒙的なものと見做されてきた。論文では、これが実は公武の転換点を叙述するにあたって重要な機能を帯びていることを明らかにした。</p> <p style="text-align: center;"><b>〈業績〉</b></p> <p>・論文</p> <p>1、「公武関係の転換点と大内裏—『太平記』の大内裏造営記事をめぐって—」 『論集 中世説話と説話集（仮）』（神戸説話研究会編、和泉書院、2014年10月刊行予定）</p> <p>・学会発表</p> <p>1、「『明德記』における土地政策と公武関係」 軍記・語り物研究会 2013 年度大会（於 大妻女子大学 2013 年 8 月 21 日）</p>	